



壬戌雪日宮爲
加賀晴江
平安 臨文

加賀の晴江はらら
二條水敷より下れて水邊を
ついでるにけり
唯宗匠の冠服を大まかに
故格へ入る袴の袖を
よほしけり

袖より袴よりやらの木の苗
枝画

萩の落葉のてりき極式
支揚

古きとよ慢まらむのに
萱子

百里まで一樹の木のあり
松林

九字のそとに
一海

お一樹をねのり
松山

友をうきや一帯のゆい
赤浦

松をうきや一帯のゆい
養山

まつとやりのやまや
一外

まつとやりのやまや
好節

まつとやりのやまや
波若

まつとやりのやまや
信江

まつとやりのやまや
信江

まつとやりのやまや
信江

まつとやりのやまや
信江

まつとやりのやまや
信江

まつとやりのやまや
信江

まつとやりのやまや
信江

まつとやりのやまや
信江

